

2011年12月9日
株式会社主婦の友社

読み・書きに困難を抱く学習機能障害を抱える著者による自伝 「DX型 ディスレクシアな僕の人生」を刊行いたします。

株式会社主婦の友社は書籍「DX型 ディスレクシアな僕の人生」を2011年12月9日に発売いたします。ディスレクシアとは、知能、視力、聴力に問題がないにもかかわらず、文字の読み・書きに困難を抱く学習機能障害。日本には12人に1人とも言われています。16歳でディスレクシアと診断された著者が、これまでの28年間の自伝を記しました。

学校生活の中でなんともいえない生きづらさを感じていた若者は、ふとしたきっかけでイギリスに留学したことから、思いもかけない人生の扉を自らの力で切り開いてゆく。「普通」とは何かを考え続けた著者の、28年間の人生の記録です。

- 幼少期／自分だけの言葉・形に対するこだわり
- 小学校時代／多様性の幕の内弁当・苦手なこと・忘れ物対策・許せないこと
- 中学校時代／初めての寮生活・イギリスとのつながり
- 語学学校／祖父の言葉を胸に・新たなホストファミリー・多国籍の同級生・ディスレクシアの診断
- 高校時代／専門性のある授業・建築との出会い・安藤忠雄氏からの手紙
- 大学時代／AAスクール・心の防波堤になった教授の言葉・地球を感じる・最良の友
- 就職、そして現在／建築家としての第一歩・ワークショップの開催・日本で感じるギャップ

著者プロフィール

藤堂高直（とうどう・たかなお）／1983年・東京生まれ。中高一貫の全寮制中学に入学するが、高校からイギリスに留学。現地の語学学校時代にディスレクシアと診断される。ケンブリッジ・アート・アンド・サイエンス（高校）を経て、世界最古の建築専門大学AAスクールで学び、卒業後は建築家としてのキャリアを積み重ねている。

ディスレクシアとは

ディスレクシアは、十分な教育環境が与えられ、知能、視力、聴力に問題がないにもかかわらず、読み・書きに特異な困難さを示す状況や、その症状を持つ人のことです。その結果、書くことの困難を伴うことが多くみられます。

発達障害の中でもLD（学習障害）の中核的症状と言われており、生まれつきの脳の機能の違いによるものです。ですから、困難さを軽減したりできることを補完したりして、情報を吸収する、表現する、といったことはできますが、基本的に治ることはありません。英語圏では10人に1人以上、日本でも12人に1人ぐらいいると言われていています。

（本書解説より抜粋）



書籍概要

タイトル／DX型 ディスレクシアな僕の人生
著者／藤堂高直
定価／1470円（税込み）
発売日／2011年12月9日（金）
体裁／並製本 あじろ綴じ 四六判 192ページ
ISBNコード／978-4-07-281275-4

本プレスリリースに関するお問い合わせ

（株）主婦の友社 デジタルビジネス部広報・宣伝課 TEL：03-5280-7577 FAX：03-5280-7578